

重点目標	基礎的・基本的な学力の確実な定着 基本的な生活習慣の確立 特色ある学校づくり 多忙化解消		
項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学習指導	生徒の学習習慣を確立し、わかりやすい授業を実践して確かな学力を育成する	<ul style="list-style-type: none"> 「学習強化期間」「居残り学習会」の設定 課題設定・点検の工夫 	<p>教員のアンケートでは授業改善の取り組み具合は前回に引き続き、さらに良くなっています。前は生徒・保護者のアンケートでは授業の理解度は低くなっていましたが、今回は理解度が生徒・保護者共に高くなりました。さらに学習環境も前回よりも数値が高くなりました。しかし、基礎力診断テストはあまり振るわず、学び直しがかなり必要という結果となりました。授業の理解度のさらなる向上のためにも学び直しをやっつけていきたいと考えています。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の確立に向けた指導 I C Tを有効に活用した指導 学習意欲の向上に向けた指導 	<p>一昨年度より学習強化期間に学習時間を確保して努力した生徒を表彰したり、教務だよりを発刊したりしており、ついに半数以上の生徒が学習習慣の確立ができてきたと回答しました。一方、全体的な学習時間は増えておらず、学習時間の確保に向けた指導が必要であると感じております。</p>
進路指導	学年、進路希望に応じた進学就職ガイダンスなどを通して、進路意識の高揚を図る	<ul style="list-style-type: none"> 進路情報の提供 面接指導の重視 	<p>進路指導への取り組みに関して、教員、保護者から概ね良好な評価をいただいておりますが、進路情報の提供を強化し、進路指導方針への理解を深めてもらう努力を継続していきます。就職は1次募集の内定率も良好で、就職指導の成果が出ていると感じます。生徒の積極的な取り組みを促し、今後も、この流れを継続させます。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 就業体験 外部講師による講話の設定 	<p>3年生を対象に行った消費者教育や着こなし講座など社会人としての素養を高める講話は必要だと感じます。1年生キャリア教育セミナーは今年も実施できず残念でした。校内外での体験的学習や進路ガイダンスは、生徒の主体的な参加を促し、より効果的な実施に引き続き力を入れていきたいと考えています。</p>
生徒指導	基本的な生活習慣を確立させる	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻防止指導の実施 	<p>「身だしなみ指導」「遅刻指導」の指導対象にならないように努めているかの問いに対して85%の生徒がそう思うと答えています。意識の低い生徒が全校で40人程度いることとなります。ピンポイントで継続的に指導をして90%を目標にしたいです。</p>
	規範意識や一般的なマナーに対する意識を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> 交差点での0立番指導の実施 校外巡回指導の実施 コミュニケーション能力の育成 	<p>「マナー」「モラル」に関しては一部を除いて大多数の生徒が意識を高く持って行動しています。就職する生徒が過半数を占めるため、今後も全職員が共通理解のもとで、一致団結した指導体制を継続していきたいです。</p>
生徒会活動	行事、部活動へ積極的に参加させ帰属意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な部顧問会議の実施 部日誌を活用した活動状況の把握 各行事における適切な指導ならびに生徒の積極性を促す体制の確立 	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来の基準を変え、闊歩大会では距離の短縮、またスタートの時間をずらし、昼食も分散させ、密を避ける工夫をして無事実施することができました。芸術鑑賞行事・体育祭についても市民会館・一宮市総合体育館を利用し無事実施できました。新型コロナウイルスの感染状況次第で順次行事を活発にしてく予定だが、感染対策との両立が課題です。</p>
PTA活動	保護者への確実な情報伝達を行う	<ul style="list-style-type: none"> 各種案内文書の工夫 メール配信 「廣表」／ホームページの充実 	<p>案内文の配布とメール配信を同時に行うことで確実に情報伝達ができている。メール配信については、より多くの保護者に利用してもらえるように案内の頻度を高めていきたいです。年3回の広報誌とホームページにより学校の状況を保護者および地域に公開できている。更にホームページの更新頻度を多くしていきたいです。</p>
	保護者へPTA関係行事への積極的な参加を促す	<ul style="list-style-type: none"> 各行事の形態の検討と内容の充実 ホームページの充実 	<p>今年度も、コロナ感染症の影響でほとんどの行事が中止となりました。一部の活動に参加していただいた際には感染防止対策に十分配慮して実施しました。活動内容については、引き続き学校配信メールやホームページを利用して、お伝えしていきたいです。</p>
学校保健活動	環境美化への意識を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備、環境美化の徹底 教室内に分別用の箱の設置 通学路・地域清掃活動の実施 	<p>昨年に続き朝日連区クリーン作戦が中止となり、勤労体験として校内の清掃活動を行いました。環境について考えるよい機会であり、今後も取り組んでいきたい。校内の美化については、81.4%の生徒が努めていると答えており、保護者も60.3%が努めていると回答しています。美化についての意識の喚起が一定程度行えています。学校周辺をきれいにすることにより、環境美化の意識を喚起し、地域住民にも応援される生徒を育てたいです。</p>
	自らの健康に対する意識を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断の事後指導の徹底 「保健だより」による広報 教育相談との連携 	<p>「保健だより」では新型コロナウイルス感染症に関する内容の他、家庭で行う健康観察表を載せました。また、時期にあった記事を保健委員の生徒と作成し、関心を高めることができました。教育相談では、悩みを抱える生徒の相談にあたることができました。</p>
いじめ防止	互いに認め合える人間関係をつくり、集団の一員としての自覚と自信を身につけさせる	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止に向けて教育相談アンケートの実施と情報把握 学年会と教育相談との連携 	<p>年に2回教育相談アンケート、保健相談部での情報交換を密に行うなどしていじめ防止に向けての情報を把握しています。そして、担任や学年の教員、スクールカウンセラーと協力して生徒間のトラブルに対応することができました。今後も協力して指導にあたります。</p>

図書館活動	読書習慣を身につけさせ、豊かな人間性を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の実施 ・購入希望図書の調査、選定 ・「図書館報」の発行 	朝の読書への積極的な参加について、昨年同様80%程度の生徒が肯定的な回答をしています。一方、図書館を利用するという生徒は、13%程度にとどまっています。今後とも図書館資料の充実を図り、利用しやすい図書館づくりに努力していききたいと思います。
研修	授業力・教師力のアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業の実施 ・授業参観の奨励 ・教科検討会・教科会での情報共有 	今年も教員のアンケートからは上向きな結果が出てきましたが、もっと授業参観が盛んに行われるべきだという意見もありました。研究授業ではICTの活用など活発に行われました。これからは一部の教員だけでなく、全職員で研究授業に関われるようにしていきたいと思っています。
安全教育	災害に対する知識を深め防災減災に対する意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・本校にあった防災計画の作成 ・市/連区と連携し避難場所設置についての運営計画を立てる ・防災備蓄品の購入 ・防災（避難）訓練の実施 	生徒用の災害時備蓄食料を備えました。昨年度中止した避難訓練についても、感染症対策に配慮しながら、校内の避難経路の確認、火災時の消火器の使用法の指導など可能な限り災害に対する指導を実施しました。今後も防災意識の向上に向けて指導継続していきます。
多忙化解消	勤務時間を管理し、長時間労働による健康障害防止	<ul style="list-style-type: none"> ・在校時間の把握 ・業務の適正化 	昨年度、本校教員の80時間を越える在校時間は4.5%であったが、今年度(11月末現在)は3.5%であり、さらなる改善が必要ではあるが、多忙化解消の意識が浸透しつつあります。一昨年度から取り組んでいる業務のスリム化や削減の効果が徐々に表れてきたと考えています。また今年度から、PTAのご理解をいただき、平日の電話対応時間を朝8時～夜7時と設定したことも教員の負担軽減に繋がっています。さらに令和元年度策定された部活動ガイドラインの指針により、年間の休養日を104日以上と設定することで、部顧問の負担軽減等を図っており、今のところ概ね守られています。
総合評価	昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で進路や生徒会の行事や部活動、発表会などが中止になり、アンケートでも様々な意見をいただきました。今年度は中止ではなく、会場を変更したり、規模を縮小したりして感染症対策を取りながら何とか実施する方法を考えて実行してきました。今年度は新入生が今までの半数になり、さらに統廃合が決まって、人数が少ない中でも効果的な教育活動に取り組んでいきたいと考えています。		

学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末やプロジェクターなどのICTを有効に活用した授業改善について ・基本的生活習慣を確立させるための遅刻防止指導について
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターを各教室に配備し、授業でもよく活用できた。ICTを活用した研究授業も行えた。 ・各学年の熱心な遅刻指導の結果、年間遅刻指数2.0以下の達成を十分可能な状況をつくることができた。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した学習指導をさらに促進させ、教員の授業改善から生徒の学習意欲を向上させ、学習習慣の確立につなげていきたい。 ・来年度も月1回の遅刻指導強化週間、絆ネット配信による保護者への遅刻防止協力依頼などを実施して継続的に取り組んでいきたい。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> ・構成・・・学校評議員とPTA役員 ・評価時期・・・2月上旬